

ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 416



(左) VABに移動する「こうのとり」2号機、(右)「こうのとり」2号機とH-IIB ロケット2号機の結合 (出典: JAXA)

トピックス

「こうのとり」2号機は大型ロケット組立棟へ移動し、H-IIB ロケットと結合

1月7日、宇宙ステーション補給機「こうのとり」2号機 (HTV2) は、フェアリング (ロケットの先端に取り付ける「こうのとり」の機体を保護するカバー) に格納された状態で、種子島宇宙センターの第2衛星フェアリング組立棟 (SFA2) から大型ロケット組立棟 (VAB) へ移動しました。

VABへの到着後、1月7日から8日にかけて、H-IIB ロケット2号機との結合が行われました。その後、補給キャリア与圧部への最後の物資搭載が開始されました。「こうのとり」2号機は、今後、射点へ

の移動を行い、1月20日午後3時29分頃に種子島宇宙センターから打ち上げられる予定です。

筑波宇宙センター (TKSC) の HTV 運用管制室では、「こうのとり」2号機の打上げに向け、最後となる NASA/JAXA 合同シミュレーション (JMST) が1月7日に実施されました。HTV 運用管制チーム (HTV FCT) の運用管制員と、NASA の飛行管制官は、「こうのとり」2号機の国際宇宙ステーション (ISS) への接近を模擬しながら、協調運用に必要な技術の

向上を目的として訓練を行いました。



HTV 運用管制室での JMST の様子 (出典: JAXA)

Website info

HTV2 ミッションページ
<http://iss.jaxa.jp/htv/mission/htv-2/>

古川宇宙飛行士が筑波宇宙センターにて「きぼう」に関わる訓練を実施

1月6日、国際宇宙ステーション (ISS) の第28次/第29次長期滞在クルーである古川宇宙飛行士は、筑波宇宙センター (TKSC) にて、「きぼう」日本実験棟に関わる訓練を行いました。

「きぼう」ロボットアームに関わる訓練では、シミュレータ上でロボットアームを操作して、船外装置の移設作業や船外装置の点検作業を想定した訓練を行いま

した。また、実験運用に関わる訓練では、3月以降に「きぼう」で行われる予定の生命科学実験「植物の重力依存的成長制御を担うオーキシン排出キャリア動態の解析」(CsPINs) で実施する作業の手順確認などの訓練を行いました。

Website info

古川宇宙飛行士 Twitter で最新情報をチェック!
http://twitter.com/Astro_Satoshi



CsPINs で実施する作業の手順確認を行う古川宇宙飛行士 (出典: JAXA)



次のマランゴニ対流実験の準備を実施、MAXI サイエンスニュース 26 号掲載

「きぼう」日本実験棟船内実験室では、1月10日と12日に、「マランゴニ対流における時空間構造」実験の第2シリーズの開始に向けた準備作業が行われています。この実験は、流体実験ラックの流体物理実験装置 (FPEF) を使用して、1月下旬頃から開始する予定です。

「きぼう」船外実験プラットフォームで

は、宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA-AP) と全天 X 線監視装置 (MAXI) の観測運用が続けられています。

ホームページでは、MAXI サイエンスニュースを随時掲載しています。最新号の26号では、MAXIにより観測された変光星アルゴルからの巨大フレアのニュースを掲載しています。そのほか、X線新星

の発見、MAXI国際会議での成果発表など、毎号大変興味深い話題を掲載していますので、ぜひご覧下さい。

Website info

「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

MAXIサイエンスニュース
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/ef/maxi/news.html>

STS-133 ミッションの準備状況

ディスカバリー号の打上げは更に延期、次の打上げ目標日は2月25日以降

NASAは、2月3日以降を目標としていたスペースシャトル・ディスカバリー号の打上げを更に延期し、2月25日以降とする旨を発表しました。

この決定は、ディスカバリー号の外部燃料タンク (ET) の中間タンク (ET内の

液体酸素タンクと液体水素タンクを結合する構造物) で発見されたクラック (亀裂) について、中間タンクの補強修理などに時間を要するとの判断に基づくものです。

なお、ディスカバリー号の打上げ延期に伴い、スペースシャトル・エンデバー

号 (STS-134 ミッション) の打上げも延期となる見込みです。

Website info

国際宇宙ステーションの組立フライト ULF5 (STS-133)
<http://iss.jaxa.jp/iss/ulf5/>

今週の国際宇宙ステーション



クルーはロシアの船外活動や「こうのとり」2号機の到着に向けた準備を実施

第26次長期滞在クルーは、米国時間1月20日に予定されているロシアの船外活動に向けた準備や、宇宙ステーション補給機「こうのとり」2号機 (HTV2) の到着に向けた作業などに忙しい日々を過ごしました。

コールマン、ネスポリ両宇宙飛行士は、「こうのとり」2号機のISSへの結合時に船外活動が必要となった場合に備え、船

外活動ユニット (EMU) の整備や、作業手順の確認などを行いました。

Expedition 26 Crew

ISS滞在 95 日経過
 スコット・ケリー (NASA)
 アレクサンダー・カレリ (ロシア)
 オレグ・スクリポチカ (ロシア)

ISS滞在 25 日経過
 ドミトリー・コンドラティエフ (ロシア)
 キャスリン・コールマン (NASA)
 パオロ・ネスポリ (ESA)



「ユニティ」(第1結合部)にて、第26次長期滞在クルー (出典: JAXA/NASA)

more information

- ▶ 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センターからアンケートご協力をお願い(2月14日(月)まで)
http://iss.jaxa.jp/questionnaire_110111.php
 ホームページの情報の充実とより分かりやすい発信のため、アンケートを実施しています。多くの皆様のご意見をお待ちしています。
- ▶ 1月31日(月)開催 平成22年度第2回宇宙医学生物学研究ワークショップ参加者募集(申込み締切り1月27日(木)午後5時まで)
http://iss.jaxa.jp/topics/2010/12/igaku_ws_fy22.html
 テーマは「宇宙と健康増進の取り組み」です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

ISS・きぼうウィークリーニュース 第416号

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
 ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp
 ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。